[添付資料]

平成２３年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価実施計画書（概要）

１．はじめに

平成23年11月11日付けで原子力安全・保安院（以下「保安院」）による「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施について（指示）」により、保安院として今後耐震バックチェックを実施していくにあたり、保安院における中間評価の段階で妥当性について改めて検証する必要性があるとされている課題及び平成23年東北地方太平洋沖地震から現時点までに得られている知見を踏まえる必要があることから、新たに津波堆積物の調査、周辺斜面の安定性に関する影響評価の指示が出された。
本実施計画は、当社が実施する評価の計画についてとりまとめたものである。

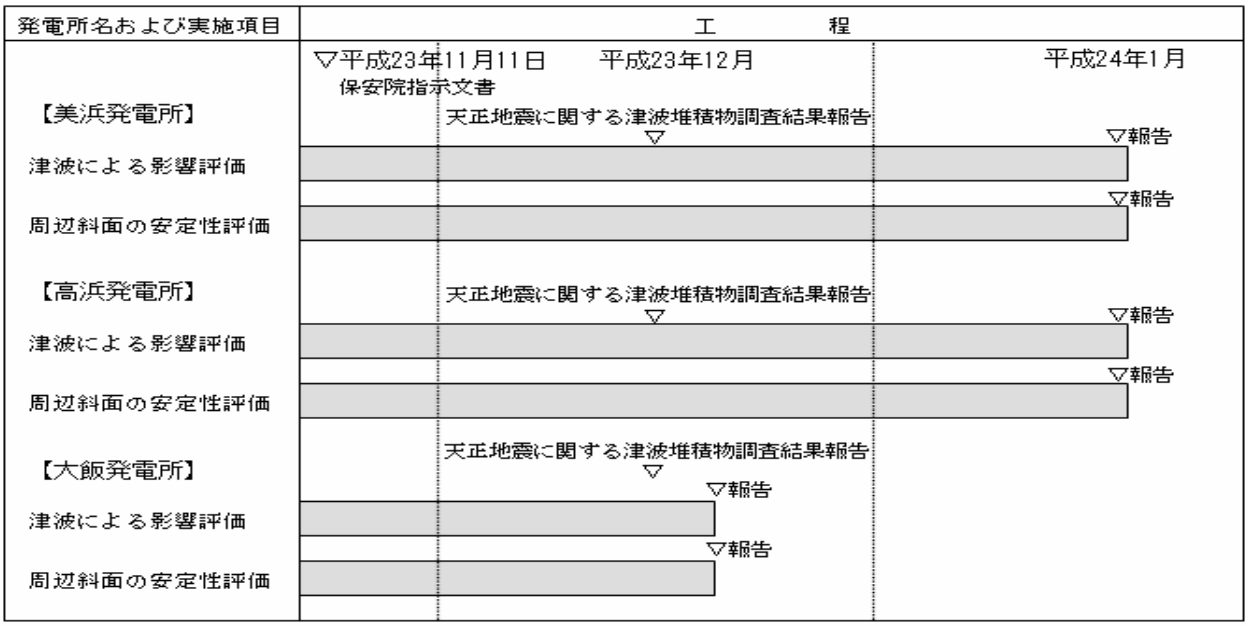
２．指示内容

①津波堆積物の掘削調査を行い、美浜発電所、大飯発電所及び高浜発電所に対する影響評価
②基準地震動の変更に伴う周辺斜面の安定性の再評価及び当該再評価を踏まえた安全上重要な施設等への影響評価

３．実施内容

（１）津波による影響評価
ａ．津波堆積物については、平成23年10月24日から、三方五湖及びその周辺において、日本原子力発電株式会社と独立行政法人日本原子力研究開発機構とともにボーリング調査を実施中であるが、指摘されている天正地震による津波に関する評価を早期に進める。
ｂ．津波堆積物調査結果も踏まえた数値シミュレーションにより美浜発電所、大飯発電所及び高浜発電所における津波高さを算定する。
ｃ．数値シミュレーションから得られる津波高さに対する各発電所への影響評価を実施する。
（２）周辺斜面の安定性評価
ａ．周辺斜面については、基準地震動Ｓｓに対する安定性について評価を実施する。
ｂ．上記評価結果を踏まえて、安全上重要な施設等への影響について評価を実施する。

４．実施工程（予定）



※この工程は評価の進捗等によって期間変更する場合がある。